

2025年12月期 第1四半期 決算説明会



2025年5月15日
井関農機株式会社

1. 2025年12月期 第1四半期 業績の概要

・連結業績の概要	5
・国内売上高	6
・海外売上高	7
・営業利益	8
・経常利益、四半期純利益	9
・バランスシート	10

2. 国内外市場動向

・国内市場の動向	12-13
・海外市場の動向	14-15

3. 2025年12月期 業績予想

・2025年12月期 連結業績予想	17
-------------------	----

4. TOPICS

・「みどり投資促進税制」対象機械に認定	19
・ESG	20

5. APPENDIX

・会社概要	22
・連結業績の推移	23-24
・商品・サービス概要	25
・商品別売上高の内訳	26
・海外地域別売上高の内訳	27
・国内の主な事業所・製造所	28
・当社製品の主な販売経路	29
・海外の製造所・活動拠点	30
・グローバル展開	31-33
・知的財産について	34

< 第1四半期 業績 >

社内計画を上回る

国内好調、海外高水準継続により、前年同期比増収増益

国内売上高	： 米価上昇もあり回復基調 収支構造改革の柱である作業機・メンテナンス収入が伸長
海外売上高	： 欧州堅調、アジアは韓国在庫調整完了により増収 北米は市場の弱含みを受け減収
営業利益	： 増収、価格改定効果などにより増益 プロジェクトZ施策効果・一時費用は計画通り
経常利益	： 営業外為替差損益の悪化(△4億円)により前年同期並み
四半期純利益	： 特別利益(固定資産売却益)により増益

< 通期業績予想 >

業績予想の修正なし

- ・米国関税政策による当期の利益影響は軽微
(11か月程度の通関済み現地流通在庫があること、年間販売計画の約7割を受注済みであるため)
- ・国内は米価上昇による農家購買意欲の回復で上半期は強含み継続

1. 2025年12月期 第1四半期 業績の概要

2. 国内外市場動向

3. 2025年12月期 業績予想

4. TOPICS

5. APPENDIX

連結業績の概要

(単位：億円、%) (2025年1月1日～ 2025年3月31日)		21/12期 1Q実績	22/12期 1Q実績	23/12期 1Q実績	24/12期 1Q実績	25/12期 1Q実績	前年同期比
売上高		404	387	458	439	461	+ 22
(国内)		282	227	282	243	264	+ 20
(海外)		122	160	176	195	197	+ 1
売上総利益		117	108	137	130	138	+ 7
売上総利益率		29.1%	27.9%	30.0%	29.7%	29.9%	+ 0.2%
営業利益		14	△ 2	16	7	13	+ 6
営業利益率		3.7%	△ 0.6%	3.7%	1.7%	3.0%	+ 1.3%
経常利益		21	0	13	9	9	+ 0
親会社株主に帰属する 四半期純利益		19	2	7	4	15	+ 10
為替平均 レート(円)	米ドル	104.9	115.0	132.4	147.4	153.8	+ 6.4
	ユーロ	129.5	136.1	145.5	163.2	160.7	△ 2.5

* 為替平均レートは、在外子会社を含む売上平均レートの表記に変更しています。

国内売上高

(単位：億円)			21/12期	22/12期	23/12期	24/12期	25/12期	前年 同期比
			1Q実績	1Q実績	1Q実績	1Q実績	1Q実績	
農機 関連	農機製品	整地機	66	58	70	58	60	+ 1
		栽培機	25	16	21	16	15	△ 1
		収穫調製機	24	20	39	26	25	△ 0
		小計	116	96	131	101	101	+ 0
		作業機・部品	90	70	80	77	91	+ 13
		修理収入	11	11	11	11	12	+ 0
		小計	102	81	92	88	103	+ 14
	計		218	177	223	190	204	+ 14
	施設工事		14	7	12	7	14	+ 7
その他農業関連		50	42	46	45	44	△ 0	
合計		282	227	282	243	264	+ 20	

主な増減要因（前年同期比）

- ・米価上昇により回復基調
- ・収支構造改革の柱である作業機及びメンテナンス収入が伸長

農機製品：前年同期並みの売上高を確保

作業機・部品・修理収入：増収
(メンテナンス収入)

施設工事：大型物件の完工があり、増収

(単位：億円、%)	21/12期	22/12期	23/12期	24/12期	25/12期	前年 同期比
	1Q実績	1Q実績	1Q実績	1Q実績	1Q実績	
欧 州	59	78	110	140	146	+ 5
北 米	39	46	38	33	28	△ 4
アジア	22	35	21	19	21	+ 1
その他	0	1	5	2	1	△ 0
連結売上高 合計	122	160	176	195	197	+ 1

海外売上高 比率	30.2%	41.4%	38.4%	44.5%	42.7%	△ 1.8%
-------------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

主な増減要因（前年同期比）

- ・欧州・アジアは増収
- ・北米は弱含み

欧 州：堅調に推移し増収

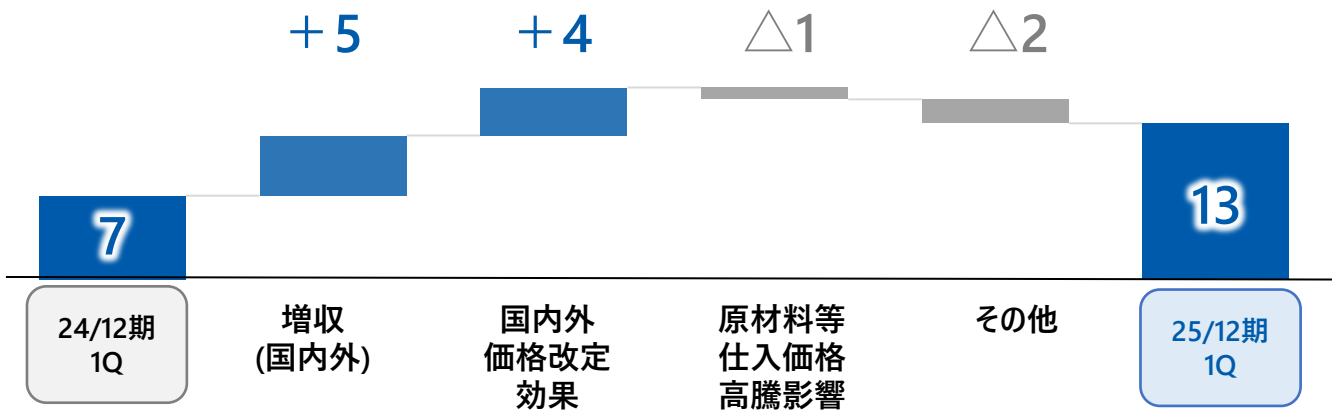
北 米：コンパクトトラクタ市場は弱含みにあり、
当社北米向け売上高も減収

アジア：韓国を中心に増収

- 国内を中心とした増収、価格改定効果などで増益

(単位：億円、%)	24/12期 1Q実績	25/12期 1Q実績	前年 同期比
売上高	439	461	+ 22
売上総利益	130	138	+ 7
売上総利益率	29.7%	29.9%	+ 0.2%
販管費	123	124	+ 1
人件費	69	71	+ 1
その他経費	53	52	△ 0
営業利益	7	13	+ 6
営業利益率	1.7%	3.0%	+ 1.3%

【営業利益増減内訳(前年同期比：+6億円)】



(参考)

【為替影響(損益影響、億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
△ 1	+ 1	0	0

【プロジェクト Z (損益影響、億円)】

営業利益	1Q実績	通期 見込み
効果	+ 2	+ 15
一時費用*	△ 2	△ 8

* 生産移管費用、販社統合費用など

経常利益、四半期純利益

- ・ 経常利益は営業外為替差損益の悪化などにより前年同期並み
- ・ 四半期純利益は固定資産売却益により増益

(単位：億円)	21/12期 1Q実績	22/12期 1Q実績	23/12期 1Q実績	24/12期 1Q実績	25/12期 1Q実績	前年 同期比
営 業 利 益	14	△ 2	16	7	13	+ 6
金 融 収 支	△ 1	△ 1	△ 5	△ 3	△ 3	△ 0
その他営業外損益	8	4	1	5	△ 1	△ 5
経 常 利 益	21	0	13	9	9	+ 0
特 別 利 益	0	0	0	0	8	+ 8
特 別 損 失	0	0	0	0	0	△ 0
税 前 利 益	20	0	12	8	18	+ 9
税、税調整額	△ 1	2	△ 5	△ 4	△ 3	+ 1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	19	2	7	4	15	+ 10

【その他営業外損益の主な増減内訳】

その他営業外損益	
為替差損益	△ 4億円
その他	△ 1億円

【特別損益の主な増減内訳】

特別損益	
固定資産売却益	+ 8億円

バランスシート

- ・ 前年同期比では、棚卸資産圧縮により、有利子負債削減
上記に加え、固定資産の前期減損、当期売却により総資産圧縮

(単位：億円)	24/3月末	24/12月末	25/3月末	前年 同期比	前期末比		24/3月末	24/12月末	25/3月末	前年 同期比	前期末比
現 預 金	130	82	77	△ 52	△ 4	仕 入 債 務	359	252	277	△ 81	+ 24
売 上 債 権	350	254	365	+ 15	+ 111	有 利 子 負 債	867	754	813	△ 53	+ 58
棚 卸 資 産	737	669	676	△ 61	+ 7	(借 入 金)	(794)	(681)	(740)	(△ 53)	(+ 59)
その他流動資産	41	50	36	△ 4	△ 13	未 払 金	63	102	105	+ 42	+ 2
						そ の 他 負 債	242	233	233	△ 8	+ 0
流動資産 計	1,260	1,056	1,157	△ 102	+ 101	負 債 計	1,532	1,342	1,428	△ 103	+ 85
有形固定資産	842	813	810	△ 31	△ 3	純 資 産	750	718	732	△ 18	+ 14
無形固定資産	24	29	30	+ 5	+ 0						
投資その他資産	156	161	164	+ 8	+ 2	(利 益 剰 余 金)	(202)	(166)	(179)	(△ 23)	(+ 12)
固定資産 計	1,022	1,005	1,004	△ 18	△ 0						
資 産 合 計	2,283	2,061	2,162	△ 120	+ 100	負債・純資産 計	2,283	2,061	2,162	△ 120	+ 100

1. 2025年12月期 第1四半期 業績の概要

2. 国内外市場動向

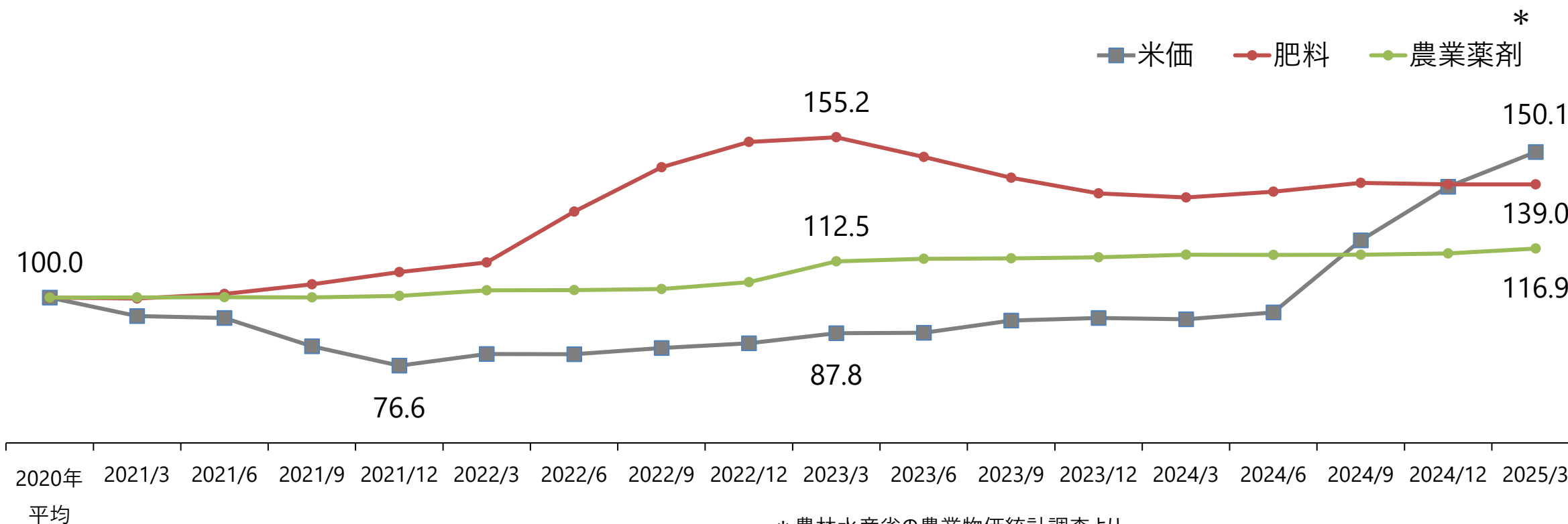
3. 2025年12月期 業績予想

4. TOPICS

5. APPENDIX

- ・ 2021年以降の米価下落、生産資材費高騰により購買意欲減退。2024年6月以降、米価上昇により、足許では購買意欲回復基調

■ 農作物価統計 月別価格指数（2020年平均 = 100）



* 農林水産省の農作物価統計調査より

米価 = うるち玄米指数（銘柄等級1等）、肥料 = 肥料総合指数、農業薬剤 = 総合指数

1-3月の状況

1. 国内販売会社

農機関連 金額（2025年1-3月）

➤ 販売：前年同期比 +8%

・作業機を中心に前年同期比増加。契約ベースでは更に上回る

➤ （参考）当社農機製品価格改定

時期	値上げ幅
2022年6月	約3%
2023年4月	約5%
2024年3月	約3%
2025年7月	約7%



コンバインFMシリーズ



トラクタBFシリーズ

今後展開等

- ・米価上昇による市場環境の回復は2025年も継続を予想
- ・7月に価格改定実施予定。改定前の推進を強化
- ・成長分野である大型・先端・環境・畑作市場で顧客獲得を図るべく、引き続きプロジェクトZの施策を進めていく
 - 大規模企画室を中心に、顧客拡大・提案力を強化
 - ・大規模農業ニーズに向けた商品・サービスの提供
 - ・「担い手」へのマーケティング強化、BtoBビジネスの推進
 - 営農情報サイト「Amoni」で大規模生産者向けコンテンツを引き続き拡充。大規模顧客へのアプローチツールとして活用
 - 新型アイガモロボは2025年分を既に完売
- 環境・有機市場への推進強化



新型アイガモロボ

1-3月の状況

1. 市場の動向

- ・欧州全体は物価上昇がひと段落、業界全体で上昇していた在庫レベルは調整が進んだ

2. 現地の販売状況

- 販売台数(2025年/1-3月、当社製品)
- ・現地販売代理店：前年同期比 +10%

3. 当社の状況

- ・市場は需要軟化が懸念されていたが、低価格帯トラクタや現地仕入商品等の販売が堅調で、計画を上回って推移

今後展開等

- ・1月よりイギリスのPTC社を連結化し、欧州事業の次なる成長に向けた体制が整った。更なる事業拡大を目指す

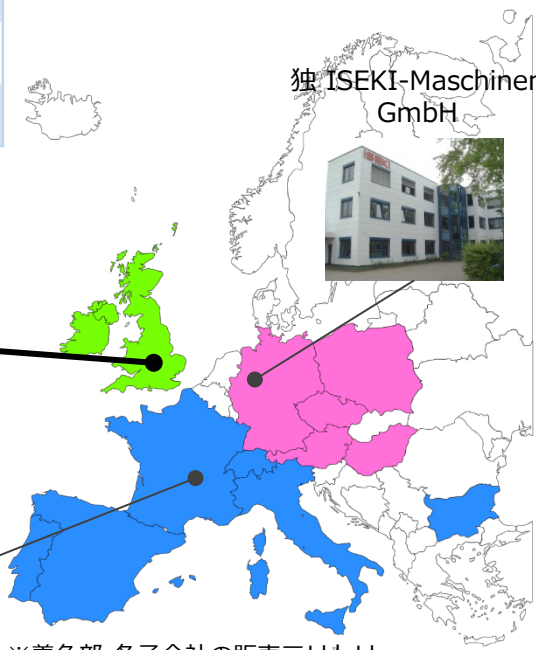
事業拡大に向けた施策

- ・販売テリトリーの拡大や取扱い商材の拡充
- ・欧州域内での在庫一元管理・効率化
- ・多様な人材交流からイノベーションを創出

英 Premium-Turf Care (PTC社)



仏 ISEKI France



独 ISEKI-Maschinen GmbH

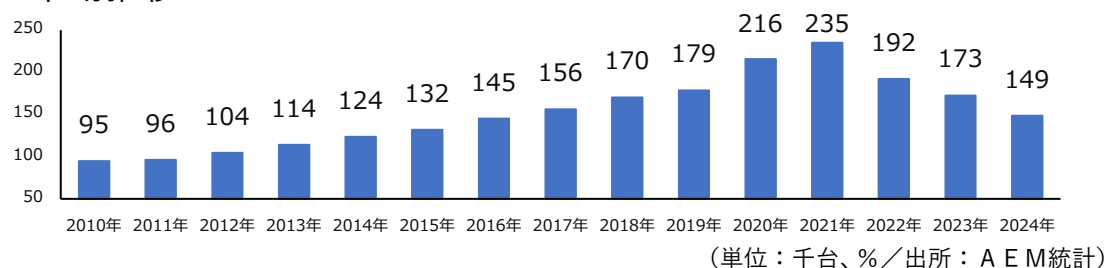
※着色部:各子会社の販売テリトリー

北 米

1. コンパクトトラクタ市場の動向

- ・2025年は底打ちを想定しているが、1-3月は引き続き需要減少
- ・現時点では関税による駆け込み需要は見られず。動向を注視
- ・2025年1-3月：前年同期比 △12%

<市場推移>



2. AGCO社(OEM先)の販売状況

- 販売台数(2025年/1-3月) 前年同期比 △14%

3. 当社の状況

- ・関税政策による影響は1-3月は限定的も、政策動向を注視
- ・今後AGCO社と中長期的な視点に立った対応を検討

ア ジ ア

1. 市場の動向

- <タイ> 稲作市場は引き続き低迷。サトウキビ市場も収穫量減少、価格低下等で環境厳しい。家計債務問題に政府対策を打ちだすも未だ改善せず、金融機関の融資引き締め継続
- <韓国> 大規模農業の進展に伴い、大型機械へのニーズは継続

2. 現地の販売状況

- 販売台数(2025年/1-3月)
タイIST社（トラクタ）：前年同期比 +62%
トラクタ販促キャンペーンを展開

3. 当社の状況

- <タイ>
 - ・ディーラーの販売活動を活性化、品揃え強化、法人営業の強化策を実施
- <韓国>
 - ・現地在庫調整完了に加え、販売代理店が自社展示会開催など販促策を強化しており、販売拡大へ積極的に推進・サポート

1. 2025年12月期 第1四半期 業績の概要

2. 国内外市場動向

3. 2025年12月期 業績予想

4. TOPICS

5. APPENDIX

2025年12月期 連結業績予想(修正なし)

- 第1四半期は社内計画を上回る
米国関税政策の当期の利益影響は軽微、国内上半期は強含み継続
(為替レートは足元の変動を鑑みて見直し)

(単位：億円、%)		21/12期	22/12期	23/12期		24/12期		25/12期		前期比
		実績	実績	実績	比率	実績	比率	予想	比率	
売上高		1,581	1,666	1,699	100.0	1,684	100.0	1,705	100.0	+ 20
(国内)		1,173	1,126	1,130	66.5	1,130	67.1	1,135	66.6	+ 4
(海外)		407	539	568	33.5	553	32.9	570	33.4	+ 16
営業利益		41	35	22	1.3	19	1.1	26	1.5	+ 6
経常利益		46	37	20	1.2	15	0.9	18	1.1	+ 2
親会社株主に帰属する 当期純利益		31	41	0	0.0	△ 30	-	13	0.8	+ 43
為替平均 レート(円) ^{*1}	米ドル	109.4	132.7	139.7		151.7		143.0 ^{*2}		△ 8.7
	ユーロ	130.4	140.7	156.6		164.8		157.0		△ 7.8
期末配当(円)		30	30	30		30		30		-

*1 為替平均レートは、在外子会社を含む売上平均レートの表記に変更しています。

*2 当初予想(2025年2月14日公表予想)：為替レートは対ドル：150.0円→143.0円、対ユーロ：変更なし

1. 2025年12月期 第1四半期 業績の概要

2. 国内外市場動向

3. 2025年12月期 業績予想

4. TOPICS

5. APPENDIX

「みどり投資促進税制」対象機械に認定

- ・「可変施肥田植機」、「乗用管理機と高精度畑用中耕除草機」がみどり投資促進税制の対象機械に認定
- ・対象機械を導入する農業生産者の方は、取得価格の32%について特別償却の適用が可能となる税制優遇を受けることができる

■商品情報・特長

対象機械	商品概要・特長
可変施肥田植機	本機に搭載しているセンサが田植えを行いながら、作土深（作土層の深さ）とSFV（土壌肥沃度）を検知し、施肥量を土壌の状態にあわせてリアルタイムで減肥するスマート田植機。これにより、稲の品質と収量を保ちながら、化学肥料の使用量低減に貢献できる
乗用管理機(JKZ23)・ 高精度畑用中耕除草機(H3-200)	H3-200は、大豆栽培において中耕・培土作業ができる中耕除草機。当機械の導入により、除草剤を使用せず栽培が可能となるため、環境保全・安全性に貢献できる。作業速度は約4～6km/hとロータリカルチ式の約2倍の速さで高速作業が可能 JKZ23は、高精度畑作中耕除草機H3-200を装着できる乗用管理機。猛暑で草丈が伸びやすい有機大豆の晩生栽培でも作業可能な車高としている

2種の「土壌センサ」

超音波センサ

超音波で
作土深を計測



電極センサ

車輪型の電極で
肥沃度を計測



電極



適期作業が可能

梅雨時の水分が多い土壌でも土を
練ることが少なく、作業可能日数が
増えます。

作業速度
約4～6km/h
ロータリカルチ式の
約2倍の速さ

チゼル
土が硬く、耕深が浅くなる場合に効果
を発揮します。

前列ディスク
前方への推進力で丸型ディスクが
回転し、土を削りながら培土します。

後列ディスク
花形ディスクで細かく土塊を砕き
ながら培土します。



■ 「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に引き続き認定

※健康経営優良法人認定制度

当制度は、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度。



2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門

■ ステークホルダーエンゲージメント 対話の充実へ

- ・株 主：株主総会（3/27）、決算説明会（2/17）
- ・お取引先：協力企業IRを開催（3-5月）
- ・従業員：従業員コミュニケーションを開催（3-6月）
 - ・「プロジェクトZ」施策の一層の浸透を図るため、幹部によるディスカッションも実施
 - ・グループ全従業員に「DNA BOOK」を配布

ISEKI
DNA BOOK



1. 2025年12月期 第1四半期 業績の概要

2. 国内外市場動向

3. 2025年12月期 業績予想

4. TOPICS

5. APPENDIX

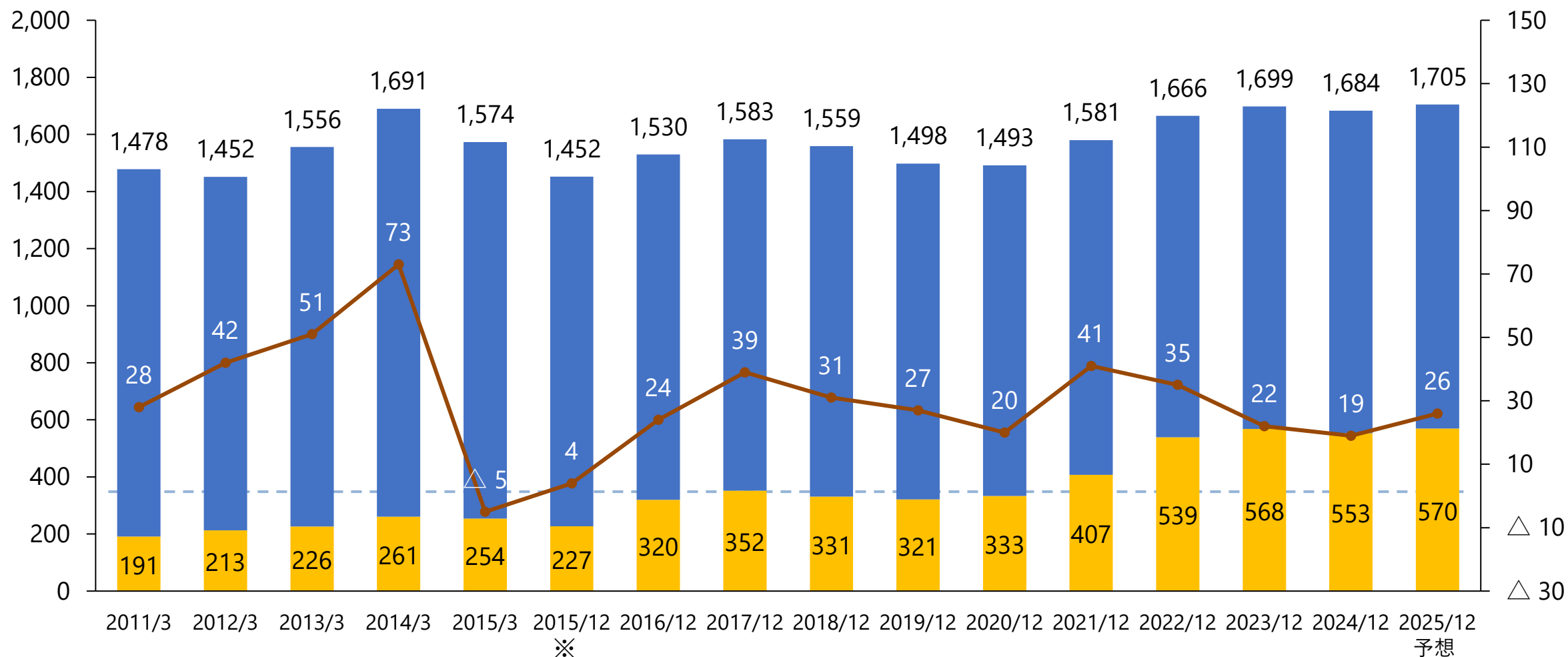
・社名	井関農機株式会社（ISEKI & CO.,LTD.）
・創立	1926年8月
・本店の所在地	愛媛県松山市馬木町700番地
・資本金	23,344百万円（2024年12月末）
・売上高	168,425百万円（2024年12月期）
・従業員数（連結）	5,292名（2024年12月末）
・事業内容	農業機械・ガーデントラクタの製造・販売,農業用施設,農業関連商品の販売
・グループ	連結子会社14社（2025年3月末）
・工場	国内5拠点,海外3拠点(インドネシア,中国(合併)×2)
・販売網	国内：ISEKI Japan*他系列販売会社、JA全農、販売代理店等を通じた販売 *2025年1月発足 海外：【欧州】ISEKIフランス社,ISEKIドイツ社,PTC社(英国),その他現地販売代理店等を通じた販売 【北米】AGCO社へのOEM供給,【中国】東風井関農業機械有限公司, 【タイ】IST社,【その他地域】現地販売代理店等を通じた販売
・上場市場	東京証券取引所プライム市場
・証券コード	6310
・発行済株式の総数	22,984,993株（自己株式111,384株を含む）
・単元株式数	100株

連結業績の推移（通期）

（売上高：億円）

■ 海外売上高 ■ 国内売上高 ● 営業利益

（営業利益：億円）



※2015/12期は決算期変更のため9ヶ月決算

連結業績の推移（四半期別）

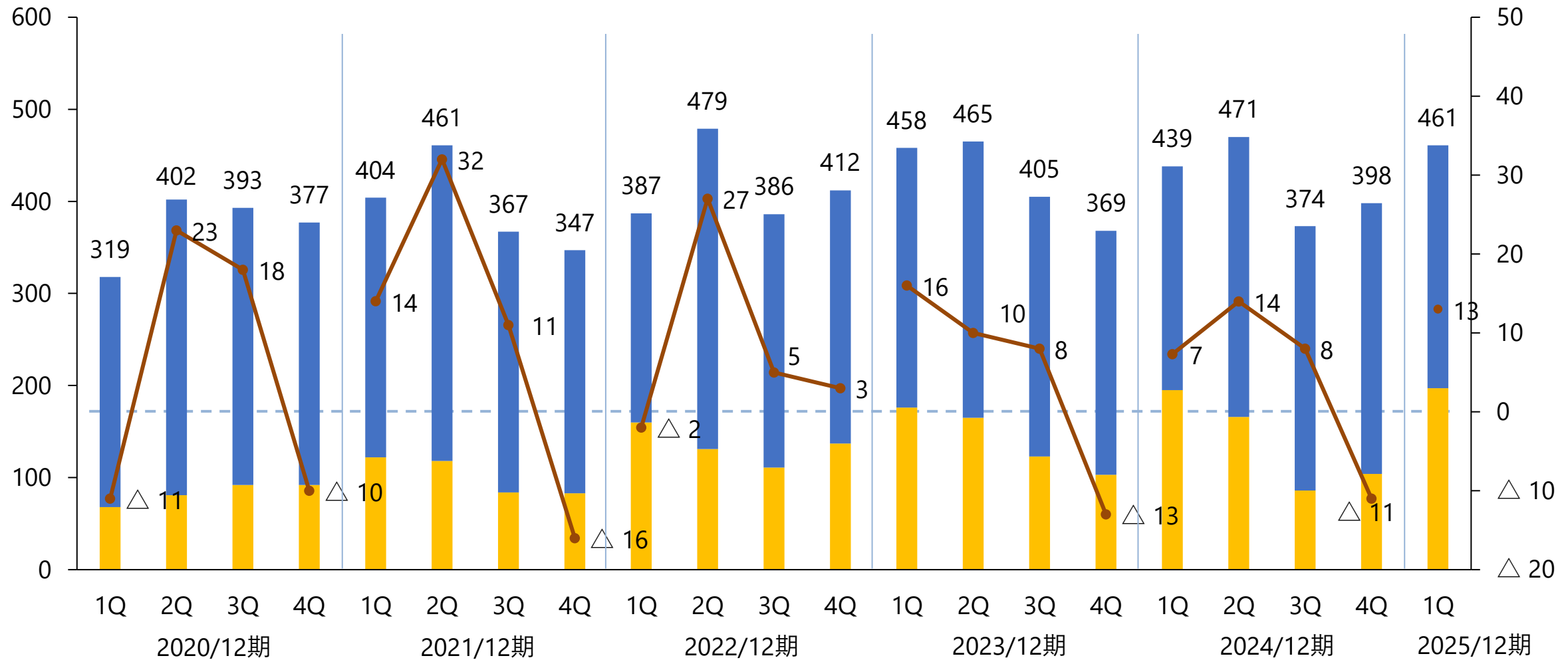
(売上高：億円)

■ 海外売上高

■ 国内売上高

— 営業利益

(営業利益：億円)

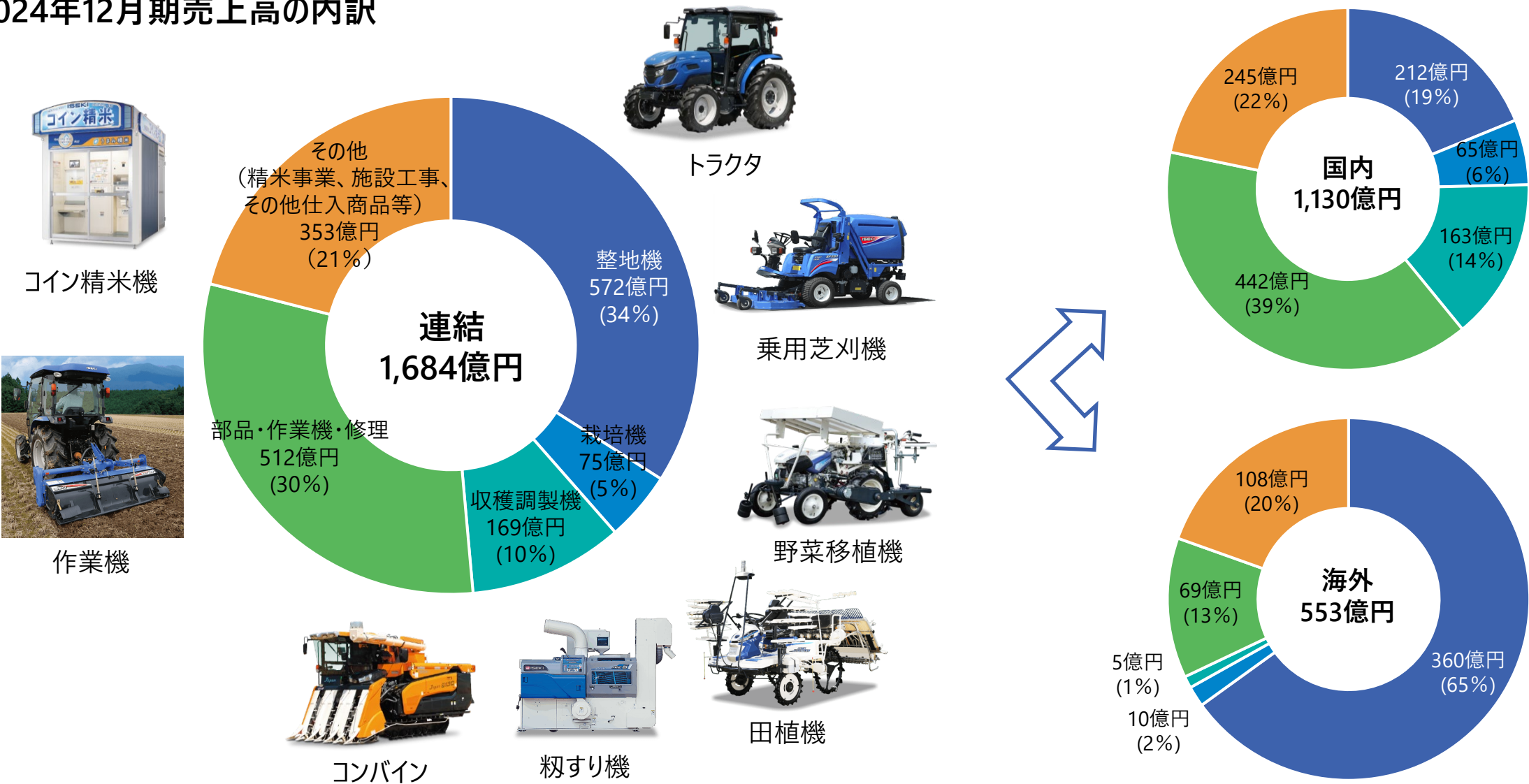


商品・サービス概要

区分	主な商品・サービス	主な販売地域			
		日本	アジア	欧州	北米
製品	主に当社グループにて開発・生産する製品				
整地用	トラクタ、乗用芝刈機、 耕うん機・管理機、乗用管理機など    	○	○	○	○
栽培用	田植機、野菜移植機など  	○	○	—	—
収穫調製用	コンバイン、バインダ、野菜収穫機、 粃すり機、計量選別機など   	○	○	—	—
作業機・補修用部品・ 修理収入	国内・海外作業機メーカー等の商品 (一部井関グループにて開発・生産) 補修用部品、修理・メンテナンスなど    	○	一部	一部	主に 部品
その他	施設工事（農業用施設等） 農業用資材（肥料等）、コイン精米事業、炊飯事業、 その他仕入商品（小型草刈機等）など   	○	一部	○	—

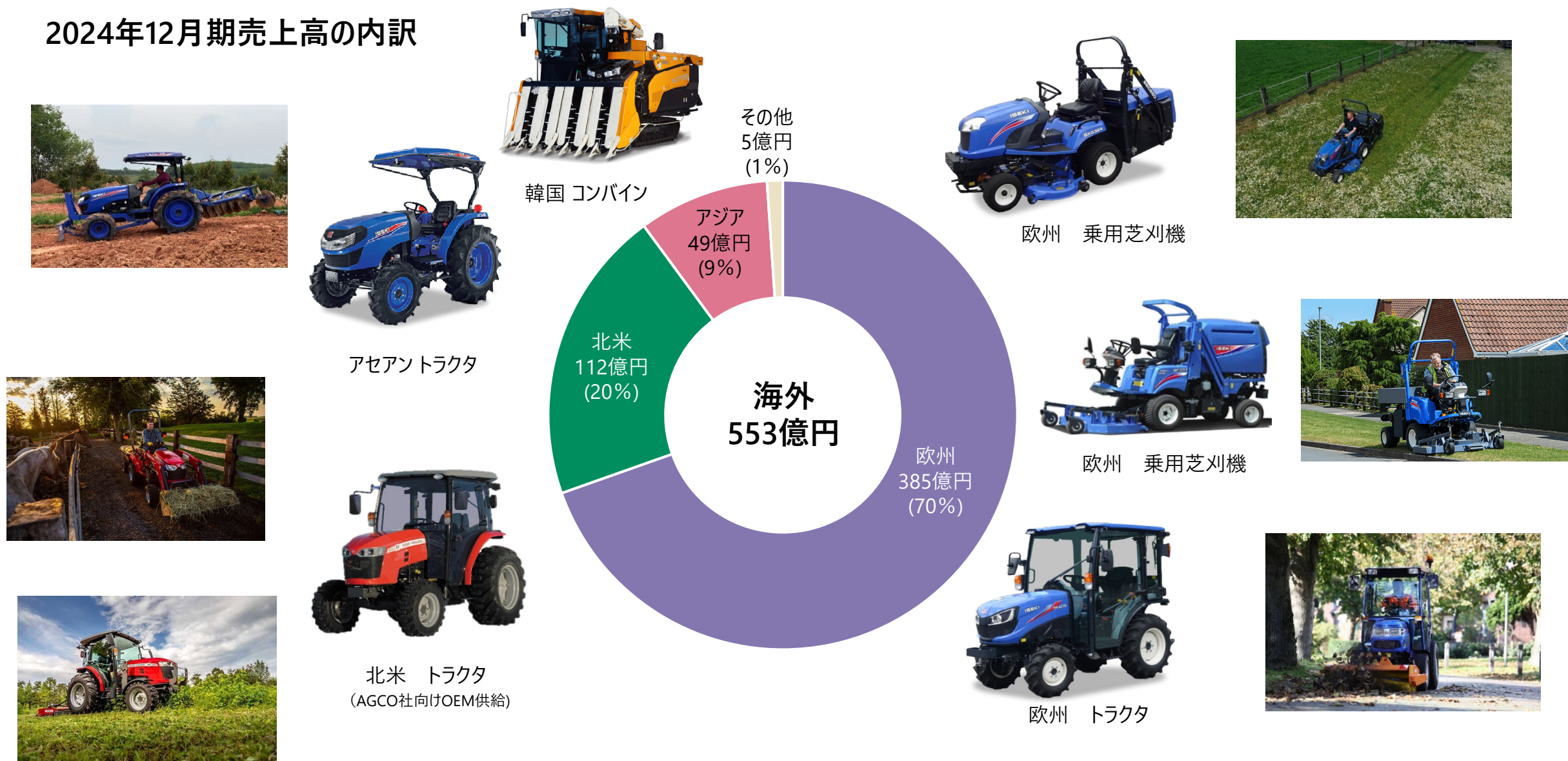
商品別売上高の内訳

2024年12月期売上高の内訳



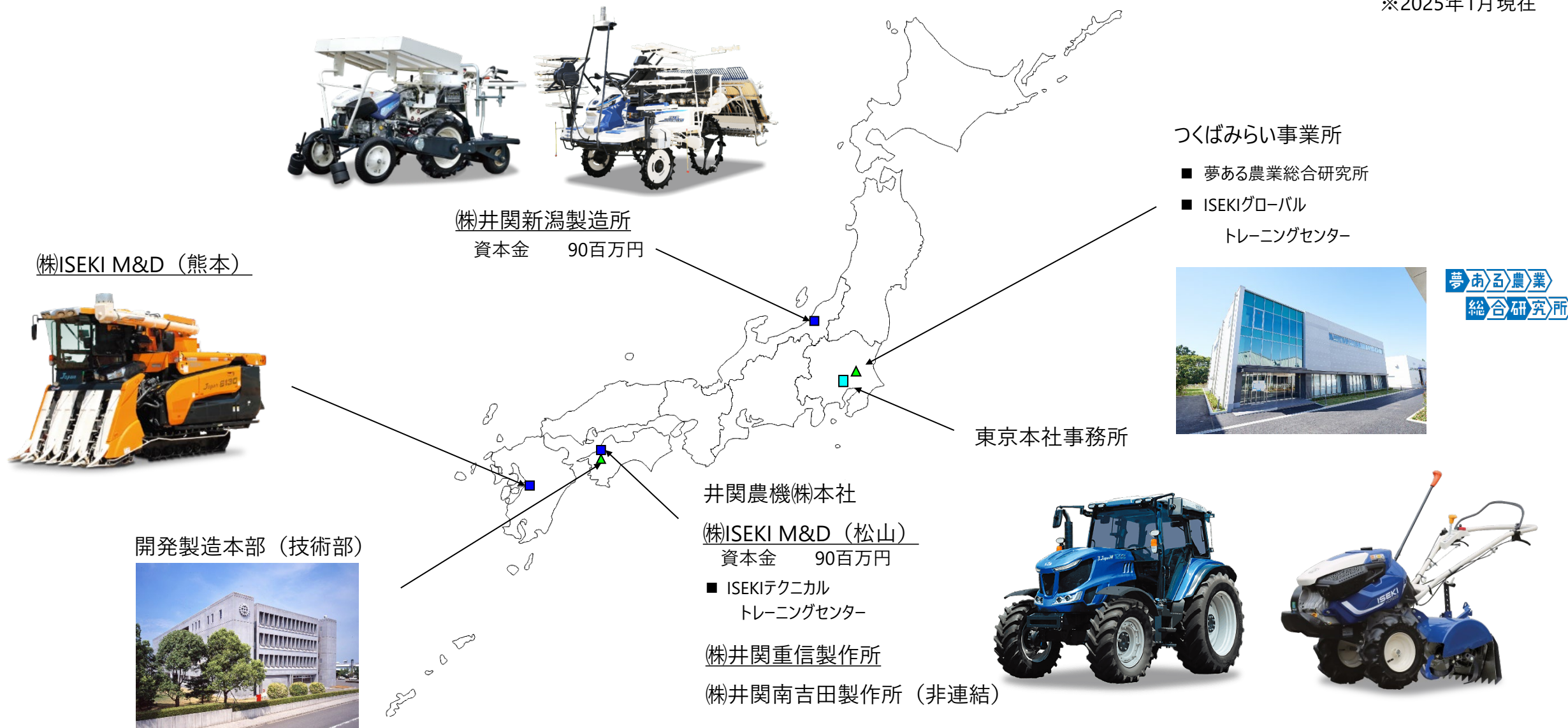
海外地域別売上高の内訳

2024年12月期売上高の内訳



国内の主な事業所・製造所

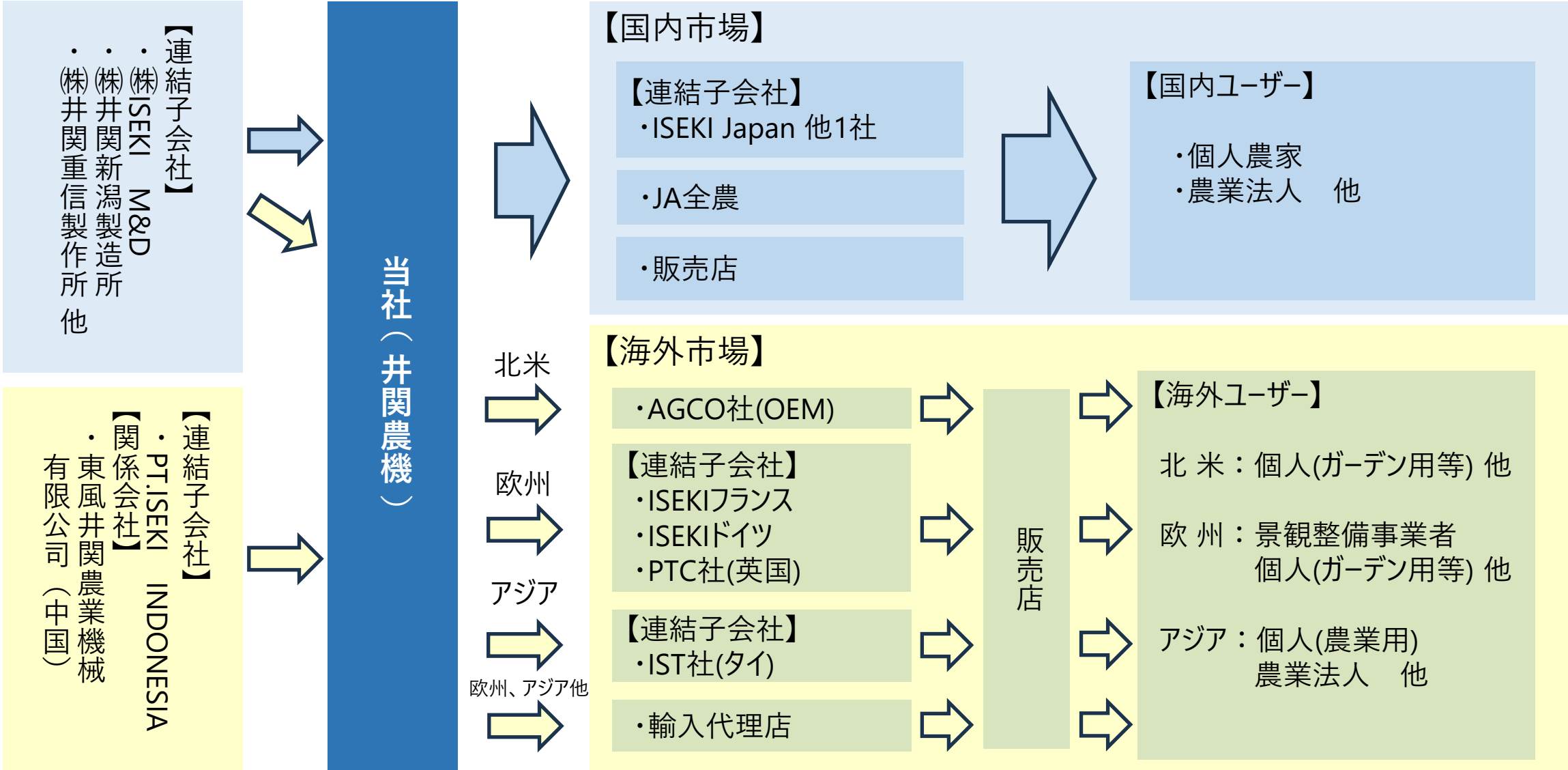
※2025年1月現在



当社製品の主な販売経路

国内向け製品 ➡ 海外向け製品 ➡

(2025年1月現在)



海外の製造所・活動拠点

(2025年5月現在)



海外：主な関係会社・戦略パートナー

[関係会社]

フランス	ISEKI France S.A.S. (ISEKIフランス社)
ドイツ	ISEKI Europe GmbH (ISEKIヨーロッパ社) ※1
	Iseki-Maschinen GmbH (ISEKIドイツ社)
イギリス	PREMIUM TURF-CARE LIMITED (PTC社)
タイ	IST Farm Machinery Co.,Ltd. (IST社)
インドネシア	PT. ISEKI INDONESIA (PT井関インドネシア) ◆
中国	東風井関農業機械有限公司 (東風井関) ◆ ※1

[戦略パートナー]

アメリカ	AGCOグループ ※2	AGCO Corporation (AGCO社)
インド	Tractors and Farm Equipment Ltd. (TAFE社：業務提携)	

◆生産拠点

※1：非連結 ※2：OEM供給先

(2025年5月現在)

「住みよい清潔な街づくり」に貢献

- ✓ 1960年代にビジネスをスタート。以降、欧州全域に販売エリアを拡大し、ISEKIブランドを確立、欧州の街づくりに貢献しています
- ✓ 主に自治体から請け負う景観整備業者を中心に、エッセンシャルビジネスである公園の芝刈りや道路清掃、除雪作業に使われる小型で高性能なトラクタ、乗用芝刈機を提供しています
- ✓ 2025年からはイギリスのプレミアムターフケア社(PTC社)を連結子会社化。欧州子会社内での連携を強化し、購買・調達などの一元化やコンポーネントの共通化でシナジーを発揮し、欧州事業の更なる拡大を目指します

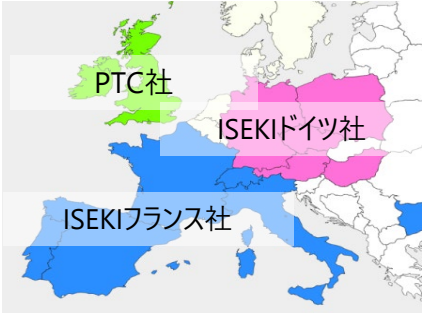
■取り扱い商品

区分	主な内容	主なユーザー
製品(Non-Agri) (主に整地用)	(主に景観整備用) コンパクトトラクタ、 乗用芝刈機、耕うん機など	景観整備業者、 小規模農家、 ホビーファーマー
その他商品	作業機*・部品など	

*当社製品とシナジー効果の高い、電動・ガソリンタイプの芝刈商品等を仕入・販売

■主な販売ルート

フランス	ISEKIフランス社 (連結子会社)
ドイツ	ISEKIドイツ社 (連結子会社)
イギリス	PTC社 (連結子会社)
ベルギー・オランダ	バンデハーグ社
等	



(2025年5月現在)

「プライベートな生活充実」へ貢献

- ✓ 農業機械のグローバルメジャーメーカーであるAGCO社をビジネスパートナーに、同社のMassey Fergusonブランドの製品をOEM供給しています
- ✓ プライベートユーザーを中心に軽土木作業や庭の整備、寒冷地での除雪作業等のさまざまな用途で使用されており、現地ユーザーからも高く評価されています
- ✓ コンパクトトラクタの需要はここ10年で急速に拡大しており、特にコロナ禍においては郊外移住等のライフスタイルの変化に伴う需要が旺盛となりました。2022年以降は調整局面に入るも、依然として大きな市場規模となっています

■取り扱い商品

区分	主な内容	主なユーザー
製品 (Non-Agri) (主に整地用)	コンパクト・サブコンパクトトラクタなど	農家 ホビーファーマー 景観整備、軽土木業者
その他商品	作業機・部品など	

■主な販売ルート

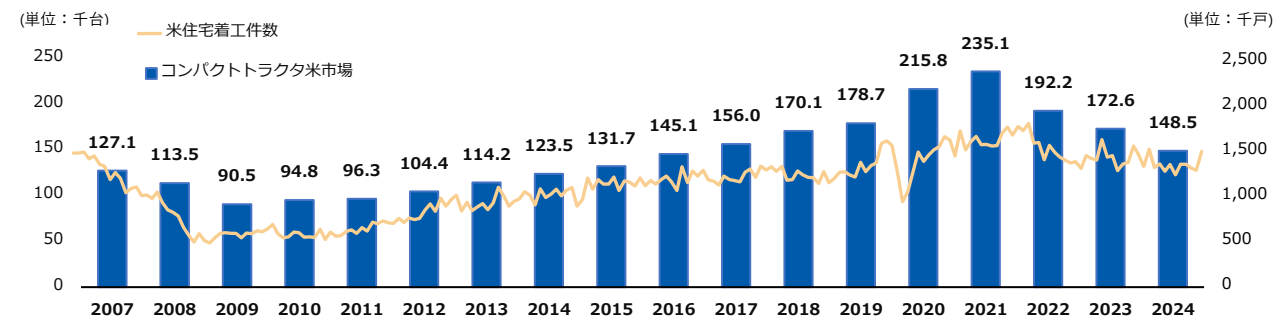
アメリカ・カナダ：AGCO Corporation（AGCO社：OEM供給）



～商品供給の歴史～

- ・1977年～ トラクタ輸出開始
(FMC社：OEM)
- ・1991年～ MF(Massey Ferguson)社へ
OEM供給
- ・1994年～ AGCO社へOEM供給開始

■北米コンパクトトラクタ市場と住宅着工件数の推移



出典： Association of Equipment Manufacturers (AEM) , United States Census Bureau(USCB)

(2025年5月現在)

「農業生産者の負担軽減、食料生産」に貢献

アセアン、東アジア（韓国・台湾）、中国の各市場において、日本で培った稲作関連機械を中心に展開しています

- ✓ アセアンでは、連結子会社であるIST社を核として、周辺国への販売・サービス展開をしています。主に農業用に利用され、トラクタに加え、稲作関連の田植機、コンバイン等も提供しています
- ✓ 東アジアでは、先端技術や大型農機のニーズが高まっており、日本で活躍する大型で高性能な稲作農機（トラクタ、田植機、コンバイン等）を現地販売代理店を通じて、ISEKIブランドで提供しています
- ✓ 中国では、稲作関連機械をISEKIブランドに加え、現地ブランドでも展開し、よりニーズに合わせた商品構成としています



■取り扱い商品・主な販売ルート

国・地域	区分		主な内容	主なユーザー	販売ルート
アセアン	製品(Agri) (主に農業用)	整地用 栽培用 収穫調製用	トラクタ 田植機（歩行・乗用） 汎用コンバイン 等	農家 コントラクター	タイ：IST社(連結子会社) * IST Farm Machinery Co.,Ltd.
	その他商品		作業機・部品など		
東アジア (韓国・台湾)	製品(Agri) (主に農業用)	整地用 栽培用 収穫調製用	トラクタ、乗用管理機 田植機、野菜移植機 自脱型コンバイン 等	農家 コントラクター	現地販売代理店
中国	製品(Agri) (主に農業用)	整地用 栽培用 収穫調製用	トラクタ 田植機(歩行・乗用) コンバイン(自脱型・汎用型) 等	農家 コントラクター	東風井関(非連結) * 東風井関農業機械有限公司

当社の特許の分野別登録数や高い特許査定率は、新技術の開発・投入・実用化に積極的に取り組んできた証です

・特許の日本における分野別登録数

「その他特殊機械分野」 第2位

年	2000～06	2007～14	2016～17	2018	2019	2020～23
統計数	分野別公開数		分野別登録数			
分野	農水産	その他特殊機械				
順位	1位			2位	1位	2位

※特許行政年次報告書では、2016年版まで日本における分野別公開数(前々年実績)が公表されておりましたが、
2017年版から日本における分野別登録数(前年実績)が公表されております

出典：特許行政年次報告書2024年版(特許庁)

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません
 - ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的风险や不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません
 - ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します
- 本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません

